

MISA 平成 27 年度新入社員研修（募集のご案内）

1. 主催・実施：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

2. 目的：【ビジネス系コース】 業界・職種問わず参加できます！

社会人として必要な基本動作から各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の習得を通じ、新入社員の総合的な実務基礎力の養成と社会人意識の定着を図る。

【IT 技術系コース】

選りすぐりの講師陣によりシステムエンジニアに必携の基盤技術を系統的に習得し、新入社員の IT 実践技術の養成と技術思考スキル、人間力の本質的向上を図る。

3. 開催日程と受講料：

コース名	日程	受講料(税込)
< ビジネス系 > 業界・職種問わず参加できます！		
(1) ビジネス基盤養成コース	4/2(木)～4/13(月) (8日間)	MISA 会員：86,400 円 非会員：108,000 円
(1)-特 ビジネスマナー & コミュニケーション	4/2(木)～4/6(月) (3日間)	MISA 会員：38,880 円 非会員：48,600 円
< IT 技術系 >		
(2) システム開発技術コース	4/14(火)～5/13(水) (18日間)	MISA 会員：194,400 円 非会員：216,000 円
(3) オブジェクト指向開発コース	5/14(木)～6/8(月) (18日間)	MISA 会員：194,400 円 非会員：216,000 円
(4) システム開発マネジメントコース	5/14(木)～6/8(月) (18日間)	MISA 会員：194,400 円 非会員：216,000 円

申込は上記の各コース単位で、MISA 会員/非会員問わず先着順に受け付けます。
募集締切までに受講者が確定しない等の諸事情については MISA 事務局までご相談ください。

「キャリア形成促進助成金」など助成金活用が可能です！

一例として厚生労働省の下記助成金（いずれも各社申請）が適用可能です。申請は、**各社で事前に直接、各都道府県の労働局へ開催前の照会・申し込みを**お願いします。

キャリア形成促進助成金「政策課題対応型訓練（(1)成長分野等人材育成コース）」
キャリア形成促進助成金「政策課題対応型訓練（(7)認定実習併用職業訓練コース）」
<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/d01-1.html>

上記は平成 26 年 12 月 10 日現在の情報です。今後、助成金の追加や変更がある場合もあります。

4. 予定定員：ビジネス系：24 名×1 クラス、技術系：(2), (3), (4) 各 20 名×1 クラス

5. 研修時間：各コース共 9:30～17:30

6. 会場：NAViS(仙台ソフトウェアセンター) 仙台市宮城野区榴岡 5-12-55

7. 対象：平成 27 年度採用の新入社員 **MISA 会員・非会員は問いません。**

8. 申込方法：別紙申込書にて MISA 事務局までお申込ください。 **第1次締切：1 月 30 日(金)**

(定員に空きがある場合、第2次募集を行う場合があります。)

9. お問い合わせ先：MISA 事務局 TEL:022-217-3023 e-mail:misa@misa.or.jp

[添付別紙] 別紙1:MISA 新入社員研修の基本体系
別紙3:申込にあたっての留意事項
別紙5:フォローアップ研修内容【参考】

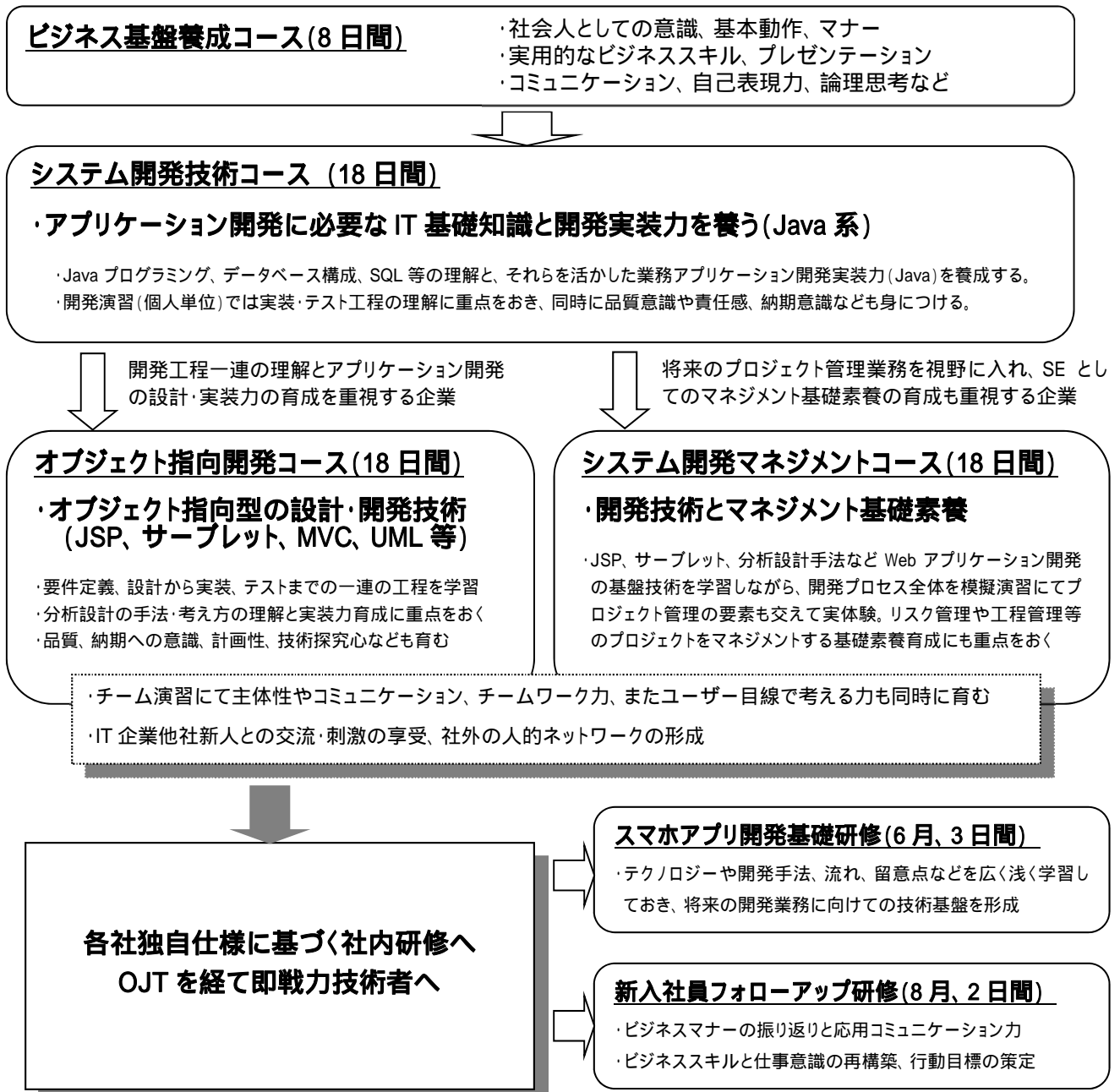
別紙2:MISA 新入社員研修・カリキュラム
別紙4:新入社員研修申込書
別紙6:スマートフォンアプリ研修内容【参考】

MISA 新入社員研修の基本体系

< 育成人材像 > MISA 企業の中核となり、将来を担うシステムエンジニアの育成

<p>コミュニケーション コミュニケーション力を発揮しながら、課題解決へ向けた具体的行動の取れる人材 (2Way、プレゼン、論理思考、情報活用)</p>	<p>システム化思考力 (業務応用力) システムの構想から開発までのプロセスを理解し、顧客目線も交えてシステム化思考できる人材 (SE 業務プロセスの実体験、品質、納期など)</p>
<p>技術の本質的理解 プログラムの動作原理 (ロジック) を理解しシステム開発において応用できる人材 (アルゴリズム、DB、Web アプリケーション)</p>	<p>自発性・意欲 自らの仕事の意味をしっかりと理解し、自発的に勉強し、考え、活躍しようとする人材 (自学の習慣づけ、技術を自ら追求する癖)</p>

< 研修のコース体系 >



ビジネス基盤養成コース(8日間)

- ・社会人としての意識、基本動作、マナー
- ・実用的なビジネススキル、プレゼンテーション
- ・コミュニケーション、自己表現力、論理思考など

システム開発技術コース (18日間)

・アプリケーション開発に必要な IT 基礎知識と開発実装力を養う(Java 系)

- ・Java プログラミング、データベース構成、SQL 等の理解と、それらを活かした業務アプリケーション開発実装力(Java)を養成する。
- ・開発演習(個人単位)では実装・テスト工程の理解に重点をおき、同時に品質意識や責任感、納期意識なども身につける。

開発工程一連の理解とアプリケーション開発の設計・実装力の育成を重視する企業

将来のプロジェクト管理業務を視野に入れ、SE としてのマネジメント基礎素養の育成も重視する企業

オブジェクト指向開発コース(18日間)

・オブジェクト指向型の設計・開発技術 (JSP、サーブレット、MVC、UML 等)

- ・要件定義、設計から実装、テストまでの一連の工程を学習
- ・分析設計の手法・考え方の理解と実装力育成に重点をおく
- ・品質、納期への意識、計画性、技術探究心なども育む

システム開発マネジメントコース(18日間)

・開発技術とマネジメント基礎素養

- ・JSP、サーブレット、分析設計手法など Web アプリケーション開発の基盤技術を学習しながら、開発プロセス全体を模擬演習にてプロジェクト管理の要素も交えて実体験。リスク管理や工程管理等のプロジェクトをマネジメントする基礎素養育成にも重点をおく

- ・チーム演習にて主体性やコミュニケーション、チームワーク力、またユーザー目線で考える力も同時に育む
- ・IT 企業他社新人との交流・刺激の享受、社外の人的ネットワークの形成

各社独自仕様に基づく社内研修へ OJT を経て即戦力技術者へ

スマホアプリ開発基礎研修(6月、3日間)

- ・テクノロジーや開発手法、流れ、留意点などを広く浅く学習しておき、将来の開発業務に向けての技術基盤を形成

新入社員フォローアップ研修(8月、2日間)

- ・ビジネスマナーの振り返りと応用コミュニケーション力
- ・ビジネススキルと仕事意識の再構築、行動目標の策定



別紙2 平成27年度 MISA 新入社員研修 カリキュラム

ビジネス基盤養成コース(8日間) 4/2(木)~4/13(月) 各日9:30~17:30

コースの目的・狙い:

社会人としての基本動作を習得すると共に、MISA 訓練ならではの特色であるビジネスの実践の場で要求される各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の実務基礎スキルを育成します。

対象・前提条件:

平成27年度の新入社員
(※業界や職種を問わず参加いただける内容です。)

育成・到達目標:

1. ビジネスマナーの基本動作ができる(挨拶、言葉遣い、接客・電話応対、身だしなみ、名刺交換等)
2. 組織で働く上での基本動作ができる(ビジネス文書作成、報連相、効率性/正確性、PDCA等)
3. 協調性・柔軟性を持った組織内・外コミュニケーションが実践できる。
(チームワーク形成、ミーティング、職場の人間関係形成、接遇、クレーム対応等)
4. 主体性・積極性を持った応用コミュニケーションが実践できる。
(論理思考、企画/プレゼンテーション、積極的傾聴等)
5. ビジネスコミュニケーション力を駆使し、実際の現場で即戦力となるビジネス活動ができる。

カリキュラム:

科目・日程	概要	講師
開校式 (4/2(木)) 9:10~ 開校挨拶、及びオリエンテーション		
ビジネスマナー&コミュニケーション (3日間) 4/2(木)~4/6(月)	ビジネスマナー、コミュニケーション基礎 ・社会人としてのマナー、ビジネスの場で必要な各種コミュニケーションについて学習します。 ・必須の各種マナーをはじめ、指示の受け方、報告の仕方、言葉遣い、接客・電話応対、接遇など現場で必須となる基本行動・コミュニケーション力について、社会人としての意識や人間関係・信頼関係の構築も交えて学習します。 ・ロールプレイング等を中心とした内容により、着実な定着と職場での実践につなげます。	キャリアトーク (仙台市)代表 志伯 暁子
情報セキュリティ&ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション (3日間) 4/7(火)~4/9(木) プレゼン実習見学会 4/9(木)午後を予定	情報セキュリティ対策 ・一般的な業務に潜む情報セキュリティ上のリスク(情報の保管・記憶媒体の管理・e-mailの利用など)を想定し、その対策について学習します。 ビジネスコミュニケーション ・仕事の進み方とその中でのコミュニケーションの役割や重要性を学び、必要となる顧客対応力(ヒアリング、e-mail、コンプライアンス、個人情報保護など)に関する応用的なコミュニケーション力を養います。	マネジメントテクノロジーズ, LLC (東京都) 尾田 友志

情報セキュリティ&ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション (3日間) 4/7(火)～4/9(木) プレゼン実習見学会 4/9(木)午後を予定	論理思考、企画提案書作成、プレゼンテーション ・ロジカルな思考力の鍛錬や相手に説明するためのシナリオ構成の仕方、企画書作成、プレゼンテーションのスキルについて学習します。	マネジメントテクノロジーズ, LLC 尾田 友志
ヒューマンスキル&ビジネス文書作成 (2日間) 4/10(金)～4/13(月)	仕事とチームワーク、ビジネス文書 ・仕事への取組意識、対人折衝、チームワークなど社会人必須のヒューマンスキルに関して、グループでの演習を交えながら実践的に学習。 ・社内外で必要となる文書作成の基本から、議事録・報告書の作成など文書作成を幅広く学習。	ホライズンコンサルティンググループ(株) (仙台市) 庄司 和弘

【受講者交流会の開催について】

地域の同世代の交流や刺激の享受、研修後の継続的なネットワークづくりを目的として開催します。

受講者交流会 (4/3(金)を予定) 18:00～20:00頃	会場：NAVIS リンケージルーム (会議室) (飲食費用は当協会が負担します。)
--	--

当交流会の受講者参加は任意です。

交流会出欠については、コース初日(4/2)に受講者へ直接お聞きします。

アルコール飲料を出しますので、未成年者の方は参加できません。ご了承ください。

【企業関係者の見学について】

研修成果をご確認いただける機会として、以下の通り企業関係者の見学ができる場を設けます。

4/9(木)午後；

プレゼンテーション実習(受講者全員が個人単位でプレゼンを行い、講師の指導を受けます。)

当実習の企業参観は任意です。

時間は午後半日を想定していますが、受講者人数により開始時刻が決定しますので、4/3頃にスケジュールと参観案内を参加企業の皆さまへお知らせします。



システム開発技術コース（18日間）

4/14（火）～5/13（水） 各日 9：30～17：30

コースの目的・狙い：

アプリケーション開発に不可欠な情報処理の基礎技術と開発実装力を養います。Java によるプログラミング力の育成とデータベース構成や SQL の理解、それらをベースとした DB 連携型の業務アプリケーションの開発演習を通じ、開発現場における実務的な留意点や品質意識、納期意識なども同時に学びながら、実装・テストのスキルについて理解を深めます。開発演習は個人単位で行い、参加者個々が着実に開発実装力を高めることを狙いとしています。

対象・前提条件：

プログラマーやシステム開発技術者に必要な IT 基礎知識や開発実装力の育成をしたい企業（事前のプログラミング経験の有無は問いません。）

育成・到達目標：

1. Java の言語仕様、プログラムの基本原理を理解する。
2. 業務系システムの必須技術であるデータベースの基本技術を理解し実装できる。
3. Java による業務アプリケーション開発実装力を有し、実務に円滑に移行できる。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. アプリケーション開発演習の実践を通じて、責任感や計画力、納期意識を身につける。

講師：（株）ダベンポート（仙台市）取締役 乳井 孝浩

カリキュラム：

科目・日程	概要
開校式 (4/14 (火)) 9：10～ 開校挨拶、及びオリエンテーション	
システム開発プロセスと開発基礎知識 4/14 (火)～4/16 (木) (3日間)	<ul style="list-style-type: none">・システム開発における必要な工程（要求分析、要件定義、設計、コーディング、テスト、納品）を学習。・開発する上で必要となる基本的な周辺知識（基礎理論やシステム構成、ネットワーク、HTML 等）について理解する。
RDB と SQL 言語 4/17 (金)～4/22 (水) (4日間)	<ul style="list-style-type: none">・データベースシステムの概要、SQL 言語を学習。データベースの構造や ER ダイアグラムによる整合性のあるデータベース設計、MySQL の各種ツールの使用、SQL を使ったデータベース操作などを学習し、業務アプリケーション向け開発の基盤を形成。
オブジェクト指向 Java プログラミング 4/23 (木)～4/30 (木) (5日間)	<ul style="list-style-type: none">・開発言語として Java を題材にプログラミング力を育成する。・Java の特徴やデータ型、基本構文（条件分岐、繰り返し、演算子）、クラスやメソッド、オブジェクト、JDBC によるデータベースアクセス等を解説。・クラスの継承や多様性、カプセル化などオブジェクト指向も学習。・演習も交えて Java プログラミング基礎力の定着を図る。

業務アプリケーション 開発演習 5/1（金）～5/13（水） （6日間）	<ul style="list-style-type: none"> ・前項の Java プログラミング実践力養成として、個人単位によるアプリケーション開発演習を行い実装力を育成する。 ・講師提示の課題（システム要件、基本設計、詳細設計）に基き、システム実装やテスト工程の演習を通して、DB 連携型の業務アプリケーション開発について理解を深める。
---	---

受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は MS SQL Server を利用。

【受講者交流会の開催について】

地域の同世代の交流や刺激の享受、研修後の継続的なネットワークづくりを目的として開催します。

受講者交流会 （4/17（金）を予定） 18：00～20：00 頃	会場：NAVIS リンケージルーム（会議室） （※飲食費用は協会で負担します。）
--	---

当交流会の受講者参加は任意です。

交流会出欠については、コース初日（4/14）に受講者へ直接お聞きします。

アルコール飲料を出しますので、未成年者の方は参加できません。ご了承ください。

【企業関係者の見学について】

最終日プレゼン実習等の企業見学機会は当システム開発技術コースでは予定がございません。企業見学の機会については、次コースの「オブジェクト指向開発コース」および「システム開発マネジメントコース」にて予定しております。

オブジェクト指向開発コース（18日間）

5/14（木）～6/8（月） 各日 9：30～17：30

コースの目的・狙い：

オブジェクト指向を用いたシステム開発の設計・実装力を養成します。JSP、Servlet、設計等の要素技術の定着を中心としながら、PBL（Project Based Learning）による Java 系 Web システム開発模擬演習を通して、システムの設計から実装、テストまで一連の開発工程に対する理解を深めます。開発演習では、IT 企業の要望の高いコミュニケーション力やチームワーク、主体性、計画力、実行力、要求の引き出しやお客様目線など、開発現場で要求される人間力も同時に養うことができます。

対象・前提条件：

開発工程一連の理解と、設計・実装力の育成を重視する企業
（前コース「システム開発技術コース」相当のスキルがあることを前提としています。前コース未受講の方でも参加できますが、その場合は Java プログラミング、JDBC、データベース（SQL）について事前に社内教育等で習得していることが参加条件となります。）

育成・到達目標：

1. Web アプリケーション開発に必要な実践技術（JSP、サーブレット、MVC モデル等）を理解する。
2. UML による標準的な分析設計の手法・考え方を理解し、研修後に各社の独自手法と相対的に比較しながら現場で必要な分析設計ができる。
3. Java 系の模擬 IT システム開発プロジェクトの実践を通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法や流れを理解できる。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

講師：（株）ダベンポート（仙台市）取締役 乳井 孝浩

カリキュラム：

科目・日程	概要
オブジェクト指向 分析・設計 5/14（木）～5/19（火） （4日間）	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発の工程を踏まえながら Web アプリケーション開発における留意点を理解する。 ・システム分析・設計の開発モデルを理解する。 ・UML による要求のモデリング、ユースケース図等のシステム分析や設計の基本的なパターンを学習する。
サーバサイド Java プログラミング 5/20（水）～5/25（月） （4日間）	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバサイド技術である JSP/Servlet に関して学習し、Web アプリケーション開発力を支える基盤技術として吸収する。 ・単純な要素技術ではなく、通信プロトコル、HTML や HTTP といった背景/関連技術の要点を交え、総合的な技術の吸収を狙いとする。 ・MVC モデル（Controller、View、Model）設計に関して学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。

<p>業務システム設計開発演習 5/26 (火) ~6/5 (金) (9日間)</p> <p>開発システムの検証・評価は、受講企業の教育担当者等の見学も可能とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Java系業務システム (Webアプリケーション) の設計・開発総合力を演習主体で学習。 ・講師提示の課題に基づき、グループにて設計、開発、テストまで業務システム開発の流れを実践。他社との混合チームとしチームワーク力も吸収する。 <p>開発システムの検証・評価 (5/28 (木) を予定) 課題作成プログラム (演習課題) の要件定義と設計、仕様書作成、開発計画等について出来具合等のチェック・指導。 主に「顧客要求を満たしているか」という視点から、受講者同士での相互検証も行う。</p>
<p>業務システム設計開発演習・プレゼンテーション 6/8 (月) (1日間)</p> <p>実習は受講企業の人事・教育担当者等の参観も可能とし成果報告の機会とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前項に引き続き、開発演習とプレゼンに向けた資料等を作成。 ・プレゼンテーション実習によるコース総括と最終指導を行う。 <p><プレゼン内容について> ※内容や開発規模は軽めのものとし、研修内容の定着を主目的とする。 ※開発システムの説明を主目的とはせず、開発プロセス実体験の中での失敗やそれから学ぶ気づきと振り返りを重視。</p>

受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。
プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。

【企業関係者の見学について】

研修成果をより確かなものにするために、以下の通り企業関係者の見学、助言の場を設けます。

5/28 (木) 開発システムの検証・評価 (レビュー)

6/8 (月) プレゼンテーション実習

当実習の企業参観は任意です。

時間は午後半日を想定していますが、受講者人数により開始時刻が決定しますので、1週間程前にスケジュールと参観案内を参加企業の皆さまへお知らせします。

システム開発マネジメントコース（18日間）

5/14（木）～6/8（月） 各日 9：30～17：30

コースの目的・狙い：

システム開発プロジェクト全体の模擬実践を通じて、分析・設計技術や Web アプリケーション開発技術、プロジェクト管理の視点など SE の総合的な実務基礎スキルを学習します。
 研修では標準的なウォーターフォールモデルのケースを用い、要件定義から設計、開発、テスト、納品まで一連の開発プロセスにおいて必要な知識・技能を講義と演習にて習得していきます。
 開発プロジェクト演習ではリスクや工程管理などのプロジェクトをコントロールする力を養う点も重視し、システム開発プロジェクトのマネジメント基礎素養を、要素技術と共に養うことが目標です。

対象・前提条件：

開発工程一連の知識・技能の習得と、マネジメント基礎素養の育成も重視する企業
 （前コース「システム開発技術コース」相当のスキルがあることを前提としています。前コース未受講の方でも参加できますが、その場合は Java プログラミング、JDBC、データベース（SQL）について事前に社内教育等で習得していることが参加条件となります。）

育成・到達目標：

1. 業務系課題の解決を目指した情報化プロジェクトの実践を通じて、IT システム開発上流工程からの全体像や流れを理解し、プロジェクト要員としての必要な行動ができる。
2. プロジェクト推進に必須となる計画書の作成、人員やリソースを踏まえた役割分担、仕様書・設計書、議事録などのドキュメンテーションやプレゼンテーションができる。
3. Web アプリケーション開発に必要な実践技術（JSP、サーブレット、MVC モデル等）を理解する。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

講師：（株）デジタルイノベーション（埼玉県）代表取締役 井本 貴志

カリキュラム：

科目・日程	概要
要求分析・要件定義 5/14（木）～5/18（月） （3日間）	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発における工程を踏まえながら、プロジェクトをマネジメントする上での基本的な要点について理解する。 ・課題プロジェクト演習として講師が設定した定型課題を基に受講者間で顧客訪問ロールプレイングを行い、顧客要件をヒアリングし議事録を作成、要件定義書としてまとめる。
オブジェクト指向分析・設計 5/19（火）～5/22（金） （4日間）	<ul style="list-style-type: none"> ・システム分析・設計の開発モデルを理解する。 ・UML による要求のモデリング、ユースケース図等のシステム分析や設計の基本的なパターンを学習する。 ・システム化要件定義を受けて、ソフトウェアへの要求事項について外部設計書、内部設計書を作成し、クラス内レビューを行う。
開発システムの検証・評価は、受講企業の教育担当者等の見学も可能とします。	開発システムの検証・評価（5/21（木）を予定） 課題プロジェクト演習（定型課題）前半の要件定義と設計書、開発計画等に関するチェック・指導。主に「顧客要求を満たしているか」という視点から、受講者同士での相互検証も行う。

サーバサイド Java プログラミング 5/25 (月) ~5/28 (木) (4日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバサイド技術である JSP/Servlet に関して学習し、Web アプリケーション開発力を支える基盤技術として吸収する。 ・単純な要素技術ではなく、通信プロトコル、HTML や HTTP といった背景/関連技術の要点を交え、総合的な技術の吸収を狙いとする。 ・MVC モデル (Controller、View、Model) 設計に関して学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。
Web システム開発演習 5/29 (金) ~6/3 (水) (4日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題プロジェクト演習で作成した設計書を基に DB 連携型の Web アプリケーション開発を行う。 ・製造したモジュールを、仕様書を基に単体テストを行う。 <p>※開発チェック (6/2 (火) を予定) 課題プロジェクト演習 (定型課題) の出来具合等のチェック・指導</p>
システムテストと 仕様変更 6/4 (木) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に基づきシステムテストを行い、納品できる状態まで仕上げる。 ・顧客からの仕様変更も想定した修正、再テストまで実施する。
プロジェクト実績評価 6/5 (金) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの計画と実績を基にして、進捗、生産性、品質などの差異分析を行い、プロジェクトの完了評価を報告書にまとめる。 ・課題プロジェクト演習のプレゼンテーション資料等を作成。
課題プロジェクト演習・ プレゼンテーション 6/8 (月) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中は要素技術を学習しながら業務系の課題を元にシステム開発模擬プロジェクトを推進。(課題プロジェクト演習は研修に並行して進める。)グループ演習にて情報システムの要求分析から設計、開発、テスト、納品までシステム開発の一連の流れをプロジェクトマネジメントの観点から学習。 ・所属会社や保有スキルを問わず全てバラバラの混合チームに分け、プロジェクトチームで開発していく意義やコミュニケーション、ドキュメントの整備、役割分担と計画、品質など業務系システム開発に不可欠かつ重要な内容を模擬体験できるものとする。 <p><プレゼン内容について> ※内容や開発規模は軽めのものとし、研修内容の定着を主目的とする。 ※開発システムの説明を主目的とはせず、開発プロセス実体験の中での失敗やそれから学ぶ気づきと振り返りを重視。</p>

受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合もあります。

プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。

【企業関係者の見学について】

研修成果をより確かなものにするために、以下の通り企業関係者の見学、助言の場を設けます。

5/21 (木) 開発システムの検証・評価 (レビュー)

6/8 (月) プレゼンテーション実習

当実習の企業参観は任意です。

時間は午後半日を想定していますが、受講者人数により開始時刻が決定しますので、1週間程前にスケジュールと参観案内を参加企業の皆さまへお知らせします。

平成 27 年度 MISA 新入社員研修 申込に当たっての留意事項

重要・申込の前に必ずお読みください

【申込にあたっての注意事項】

申込締切

申込の第 1 次締切は平成 27 年 1 月 30 日 (金) です。第 1 次の申込状況により 2 次募集を行う場合もあります。その場合、第 2 次締切は 2 月 20 日 (金) を予定しています。

受講者確定前の申込

上記の募集締切までに受講者が確定しない場合、受講人数枠での申込みもできます。MISA 事務局宛に別途ご相談の上、申込書送付をお願いします。
(クラス定員がありますので、第 1 次締切迄の申込を推奨します。)

受講料の請求と払込

概ね 3 月下旬頃に事務局より請求書と受講案内をお送りいたしますので、指定期日までに振込をお願いいたします。請求書発行後のキャンセルは一切できませんので予めご了承下さい。

コース・クラスの選択

5/14(木)からの IT 技術系コースは、「オブジェクト指向開発コース」と「システム開発マネジメントコース」のいずれかの選択となります。各社の重視する育成内容に応じて、適切なコースを選択いただくようお願いいたします。

事前スキル調査

受講者の属性や技術経験等に関する事前アンケートを 3 月中旬に実施します。調査の結果は研修運営やグループ分け等の参考にしますので指定の期日 (3 月下旬を予定) までにご提出ください。事情により期日に間に合わない場合はご相談ください。

修了要件について

本研修の修了要件は 各コース毎に出席率 80% 以上 となります。

別紙 5 : 「新入社員フォローアップ研修」および、 別紙 6 : 「スマートフォンアプリケーション設計・開発の世界」について

参加を予定される場合は申込用紙の該当欄に「○」を記入してください (受講義務は発生しません)。本募集の際、定員を超える申込みがあった際に優先的に参加できます。

以 上

宮城県情報サービス産業協会 事務局 御中

Fax. 022 - 217 - 3055 E-mail misa@misa.or.jp

「MISA 新入社員研修」申込書

貴社名 _____

貴社住所 〒 _____

申込担当者名 _____ 担当者所属・役職 _____

TEL. _____ E-Mail. _____

参加者欄							
参加者氏名	申込コース(○をつけてください)					フォローアップ研修()	スマートフォンアプリ設計・開発研修()
	(1)	(1)-特	(2)	(3)	(4)		
1							
2							
3							
4							
5							
【アンケート】助成金の利用を予定している場合は助成金名を教えてください。		(例: キャリア形成促進助成金「認定実習併用職業訓練コース」)					

【募集コース】

- (1) ビジネス基盤養成コース [4/2~4/13]
- (1)-特 ビジネスマナー&コミュニケーション [4/2~4/6]
- (2) システム開発技術コース [4/14~5/13]
- (3) オブジェクト指向開発コース [5/14~6/8]
- (4) システム開発マネジメントコース [5/14~6/8]

【事前調査コース()】

- 新入社員フォローアップ研修 [8/26~8/27]
- スマートフォンアプリケーション設計・開発の世界 [6/22~6/24]

「フォローアップ研修」および「スマートフォンアプリ設計・開発研修」の欄は事前調査を目的としています。新入社員研修の申込時点で受講を予定される場合に「 」をつけていただければ(受講義務は発生しません)、正式募集時に定員超過となった場合に優先的に参加できます。各研修案内に記載の時期に正式な募集案内を発行しますので、申込書のご返送後、正式受付といたします。

研修運営に必要な連絡は原則メールで行いますので、担当者メールアドレスは必ずご記入ください。

5名以上の申込の際は本用紙を複写してご利用ください。

受講者の個人情報に関してはMISA事務局での保管となり、MISAの個人情報保護規定に基づき運用いたします。目的外使用は致しません。



[別紙5:参考]

<http://www.misa.or.jp>

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
新入社員フォローアップ研修内容

研修目的：

本研修は、平成 27 年度採用の新入社員を対象に、新入社員研修とその後の実務、あるいは OJT/社内教育を踏まえてフォローアップを行い、会社からの期待に応えられる人材になるための主体的な実行力や自己成長力の向上とプロ意識の確立、対人能力やビジネス思考力のアップを図ります。

また、入社から数ヶ月程の期間が過ぎた中で、同世代の異なる企業の受講者間での交流を深め、刺激を享受し、社外人的ネットワークの形成、今後の成長の糧となることも目的としております。

受講対象者：平成 27 年度採用の新入社員

※所属部門等は問いません。

※MISA 新入社員研修の受講有無や、MISA 会員・非会員は問いません。

(新人研修申込時の事前調査欄に「○」をつけた方は優先的に受け付けます。)

日時・会場：平成 27 年 8 月 26 日(水)～8 月 27 日(木)、9 時 30 分～17 時 00 分
NAViS リンケージルーム

受講料：MISA 会員:21,600 円(内税:1,600 円) 非会員:27,000 円(内税:2,000 円)
※テキスト代込み

定員：24 名

お申込：4 月下旬に一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

計画カリキュラム(全て演習中心)：

時間:9:30～17:00 ※2 日目終了後、希望者による交流会を開催(別会費制)

研修名	内容
1. ビジネスマナー & コミュニケーション応用 (志伯講師) 8/26(水) (6.5 時間)	ビジネスマナーの振り返りと応用 挨拶、名刺交換、敬語、立ち振る舞い、言葉づかいや表現の仕方、電話対応など(ロールプレイング中心) ビジネスの現場でのコミュニケーション プロの電話対応、相手に合わせて効果的に伝えるスキル、相手を動かす話のまとめ方、スピーチ術など(ロールプレイング中心)
2. ビジネススキル & 社会人基礎力 (庄司講師) 8/27(木) (6.5 時間)	周りからの期待に応えるための必要スキルと社会人基礎力 実力ビジネスパーソンに期待される能力 現状の社会人基礎力の自己検証と評価、今後の行動目標設定 主体的キャリア形成と自己能力開発ポイント、 自己管理の手法 など

※研修の進捗や受講予定者の状況等により内容や時間配分等を予告なく変更する場合があります。

<講師>(※4 月実施の MISA 新人研修「ビジネス基盤養成コース」の講師が担当)

1. 志伯 暁子 氏 (仙台市/キャリアトーク 代表)
2. 庄司 和弘 氏 (仙台市/ホライズンコンサルティンググループ(株) 代表取締役)



[別紙6:参考]

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
平成27年度 新入社員研修・特別企画

スマートフォンアプリケーション設計・開発の世界 ～ iPhone、Android、WindowsPhone アプリ開発の基礎と体験～

研修目的：

本研修は、スマートフォンの開発業務に人材を投入するに備え、スマホアプリ開発未経験の方に対し、そのテクノロジーや開発の手法・流れ、留意点などを広く浅く網羅的に講義するものです。

また、iPhone、Android、WindowsPhone 各プラットフォームでのアプリの開発方法から、今後拡大するマルチプラットフォームに対応したアプリ開発手法までの基礎を実機演習を交えて学習していただき、スマホアプリ開発業務へスムーズに投入できる人材の基盤を形成します。

受講対象者：平成27年度採用の新入社員、スマホアプリ開発未経験の若手社員など

MISA 新入社員研修の受講有無や、MISA 会員・非会員は問いません。
(新人研修申込時の事前調査欄に「 」をつけた方は優先的に受け付けます。)

日時・会場：平成27年6月22日(月)～6月24日(水)、(3日間)、9時30分～17時00分、
NAVIS ワークショップルーム

受講料：MISA 会員：32,400 円(内税：2,400 円) 非会員：43,200 円(内税：3,200 円)
テキスト代込み

お申込：4月下旬に一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

研修名	スマートフォンアプリケーション設計・開発の世界
主な内容	<ul style="list-style-type: none">・ iPhone、Android、WindowsPhone アプリ開発の概要と最新動向・ Android アプリの開発環境構築・ Android アプリの開発手法、フレームワーク、アプリ公開について・ フレームワークを利用した Android アプリ開発演習・ iPhone アプリの開発環境構築・ iPhone アプリ開発のための Objective-C 基礎・ iPhone アプリ開発演習・ WindowsPhone アプリの開発環境構築・ WindowsPhone アプリの開発手法、Silverlight、Marketplace について・ Silverlight を使用した WindowsPhone アプリ開発演習・ マルチプラットフォーム対応のフレームワーク開発手法とは・ マルチプラットフォーム対応のアプリケーション開発ツール・ 開発環境の構築とアプリ開発演習・ iPhone、Android、WindowsPhone 各アプリ開発の留意点 <p>環境：(バージョンは開催時期の最新動向により決定します。) Android SDK、Eclipse、iOS SDK、Xcode、WindowsPhone SDK、VS Express、Expression Blend、など マルチプラットフォーム対応フレームワークはフリーのもの(Qt、PhoneGap等)を使用</p>

内容の細部は最新動向を踏まえて一部変更する場合があります。

前提条件：Java、C++、C# などのオブジェクト指向言語によるプログラミングの基礎知識・開発経験のある方。Eclipse、.NET Framework の経験を所有している方が望ましい。

講師：(株)ダベンポート(仙台市) 取締役 乳井 孝浩 定員：20名